



# Specific License Reservation (SLR) 概要

シスコシステムズ合同会社  
カスタマー パートナー サービス  
2020年10月



# SLR (Specific License Reservation)

## 概要

1. Ciscoはダイレクトクラウド接続やSSMオンプレミス接続を使用する同期通信を推奨します。
2. 一方SLRは、セキュリティ要件が厳しく、ダイレクトクラウド接続やSSMオンプレミスを使用する同期通信が不可能なお客様のネットワークに最適です。
3. SLRを採用すると、お客様サイトに設置されたシスコ機器と、シスコのクラウドツールSSMとの間の、初期設定時および30日毎に利用状況の通知を行う同期通信が不要です。
4. デメリットとして、期限付きライセンスは期限が切れる毎に手動による更新が必要です。

**SLRは全ての機器には対応していません。順次対応中です。**

SLR対応製品リストリンク:

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/software/smart-accounts/smart-licensing-feature-roadmap-comparison-table.html>

SLR対応ロードマップリンク:

<https://community.cisco.com/t5/smart-licensing-enterprise/license-reservation-product-support-roadmap/ta-p/3642940?attachment-id=146229>

# Specific License Reservation in SSM

## リホストの際の注意点

1. リホスト用のライセンスを解放するために対象機器でReturn codeを取得する必要がありますが、対象機器が障害で操作不能の場合、Return codeを取得する事ができません。

その際、シスコTACチームが強制的にSSM上で対象のPI(Product Instance)削除する必要があります。( [japan-tac@cisco.com](mailto:japan-tac@cisco.com) に依頼)

但し緊急対応する機能として、同一バーチャルアカウント内のライセンス予約したPI (プロダクトインスタンス)の総数の10%(小数点以下切り上げ)に限り、PI削除せずにリホストすることが可能です。

(例) 1～10個 → 1個リホスト可能、11～20個 → 2個リホスト可能

リホストした回数をリセットするには、TACに依頼して当該PIを削除することは必要です。

2. 削除対象のPIを特定するUDIは機器上でしか参照できないため、予めSLRを適用した機器のUDIリストを保持することにより、速やかに障害対応が可能です。

# SLR(予約済みライセンス)の事前インストール(工場出荷時SLR-Preinstall)準備

SLR 事前インストールを有効化する手順は以下のとおりです。(スマートアカウント管理者のみ可能)

- (1) <https://software.cisco.com>の[ライセンス (License)]メニューで[スマートソフトウェアライセンス (Smart Software Licensing)]をクリック。
- (2) [設定 (Preferences)]をクリック。
- (3) [予約済みライセンスの事前インストール (Reserved License Preinstallation)]のドロップダウンメニューで事前インストールを有効化するバーチャルアカウントを指定する

## 注：

- 2020年10月9日より、SLRは全ての既存・新規スマートアカウントで有効化され、メールによる有効化の申請は不要となりました。
- 事前インストールが有効になっていないバーチャルアカウントを指定して、SLR事前インストール対応の製品を注文した場合、事前インストールは自動的に拒否されて出荷され、ライセンスはバーチャルアカウントに通常どおり入れられます。
- **例外：**特定のSLR事前インストール専用製品(例：IoT製品など)については、本設定に関わらず事前インストールされます。

Cisco Software Central > スマートソフトウェアライセンス

## スマートソフトウェアライセンス

アラート | インベントリ | スマートライセンスへの変換 | レポート | 設定 | サテライト | アクティビティ

### ライセンス設定

Show License Transaction Details in Inventory Tab: 無効化 ▼ 変更履歴を表示

予約済みライセンスの事前インストール: 無効化 ▼ 変更履歴を表示

- すべてのバーチャルアカウントで有効
- 選択中のバーチャルアカウントで有効
- 無効化

### 電子メール通知

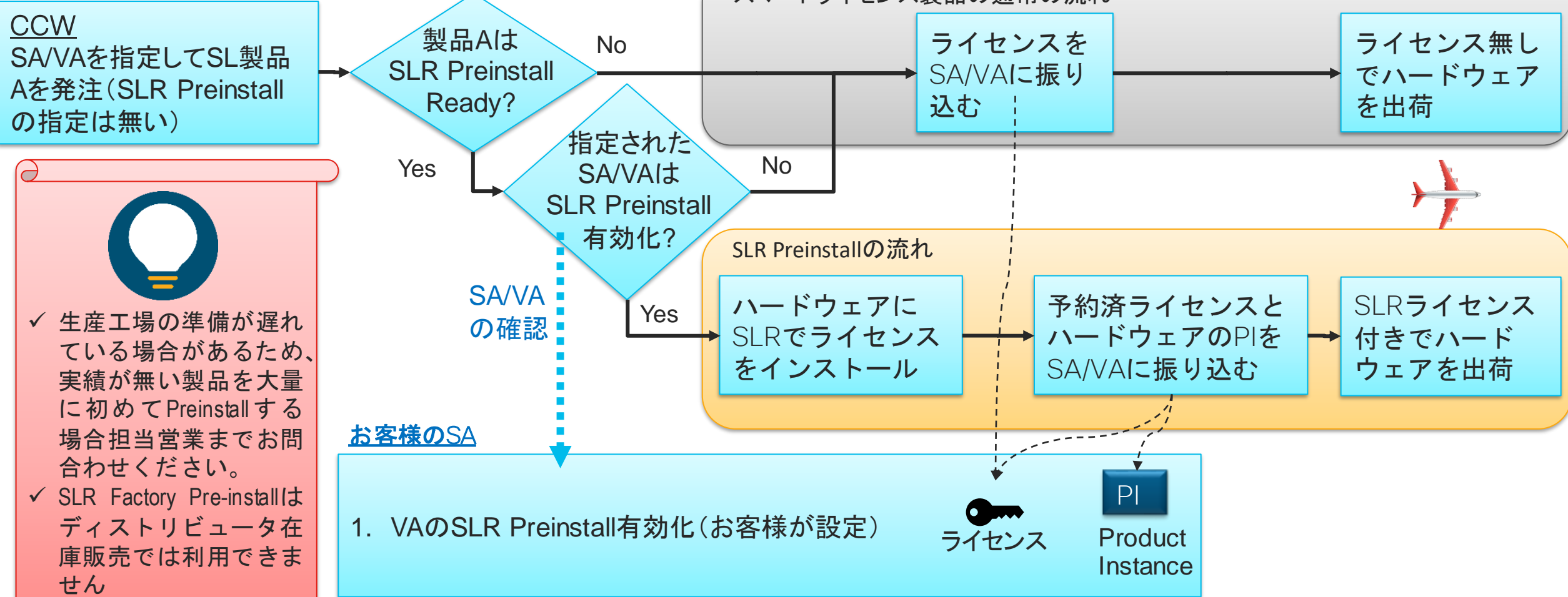
#### 日単位のイベントのサマリー

以下で選択されたイベントを含む日単位の電子メールのサマリーを受信する

# 予約済みライセンスの事前インストール(工場出荷時SLR-Preinstall)流れ

1次店

製品Aの生産工場



SLR Preinstall可能製品(Factory Pre-Install)はこちらのWebサイトでご確認ください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/software/smart-accounts/smart-licensing-feature-roadmap-comparison-table.html>

# 予約済みライセンスの事前インストール(工場出荷時SLR-Preinstall) 機器側での操作例 (Catalyst9000シリーズ)

SLRライセンスがインストールされている機器であってもライセンスの有効化が必要な場合があります。  
ライセンスモードを「Reservation」にすることでSLRライセンスが有効になります。

出荷時のデフォルト:  
C9300#show lic summ  
Smart Licensing is ENABLED

SLRを利用する為、リザベーションモードに変更 ※  
C9300#conf t  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
C9300(config)#license smart reservation

C9300#show lic summ  
Smart Licensing is ENABLED  
**License Reservation is ENABLED**

Registration:  
Status: REGISTERED - **SPECIFIC LICENSE RESERVATION**  
Export-Controlled Functionality: ALLOWED

License Authorization:  
**Status: AUTHORIZED - RESERVED**

License Usage:

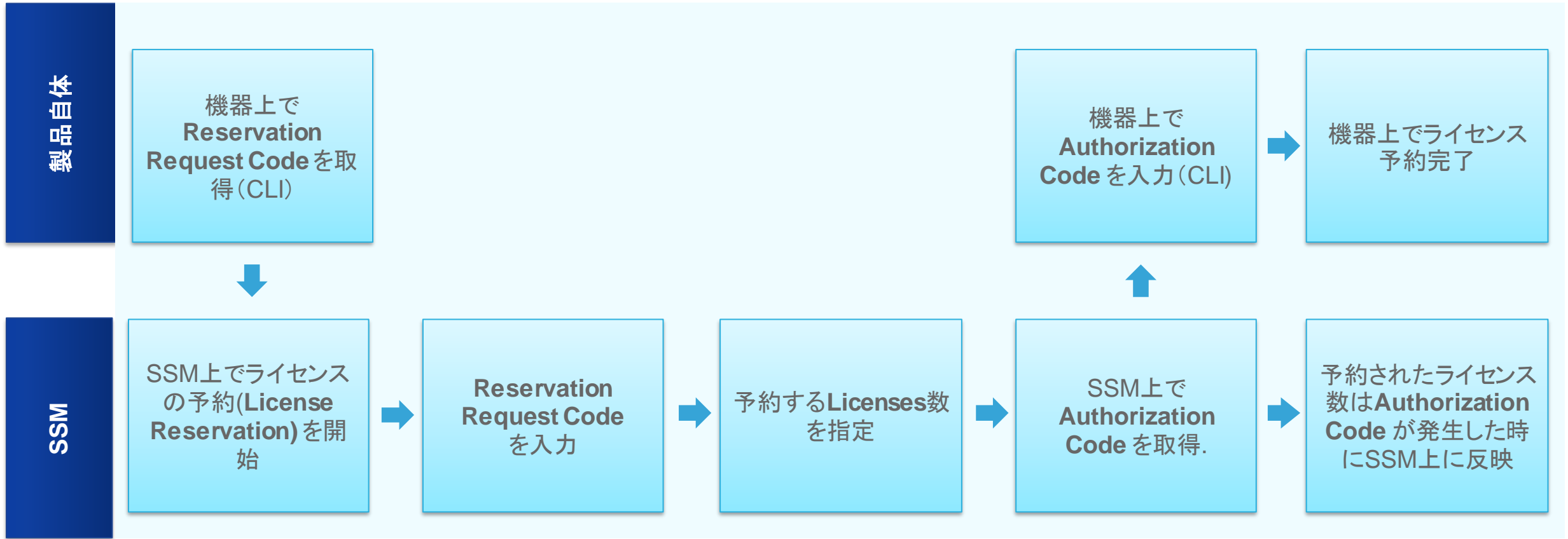
License	Entitlement tag	Count	Status
C9300 48P DNA Advantage	(C9300-48 DNA Advantage)	1	<b>AUTHORIZED</b>
C9300 48P NW Advantage	(C9300-48 Network Advan...)	1	<b>AUTHORIZED</b>

※SLRを利用する=ライセンスのモードを「reservation」モードで利用する必要があります

リザベーションモードに変更することでFACTORY INSTALLされたSLRライセンスを読み出し、即時にライセンスが有効になります。

# Specific License Reservation in SSM

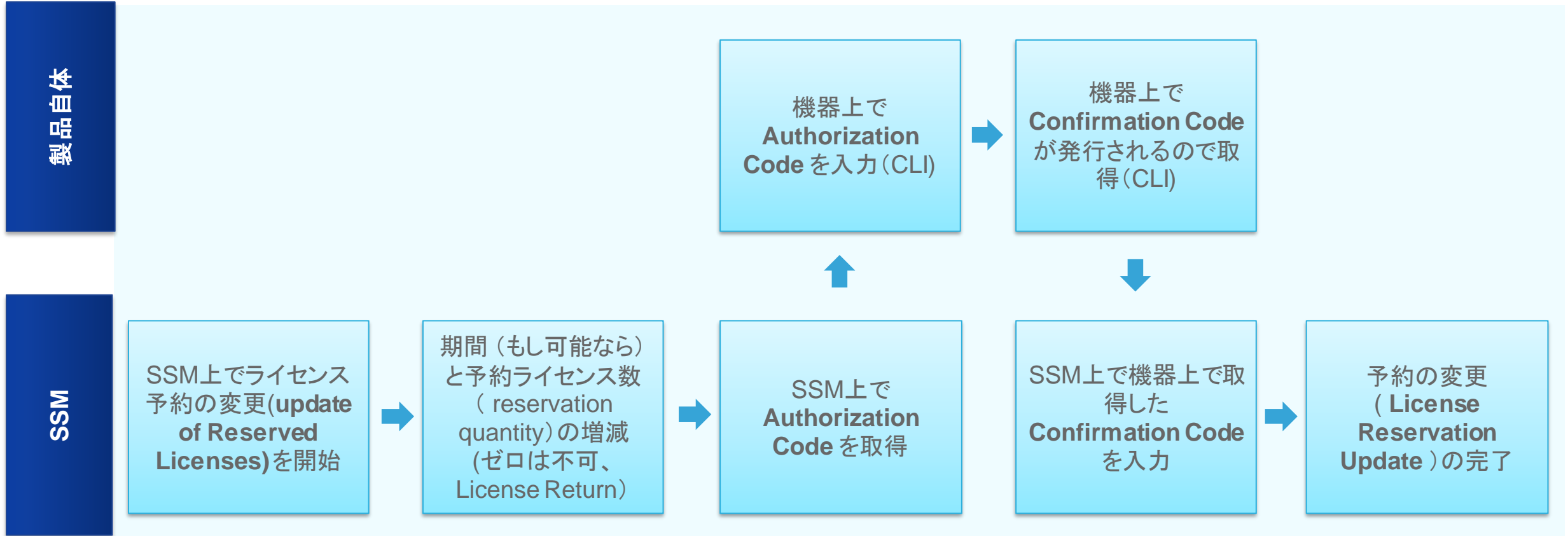
## ライセンスの予約





# Specific License Reservation in SSM

## 予約済みライセンスのアップデート





# Specific License Reservation in SSM

## SLRの解除(Return Licences)

